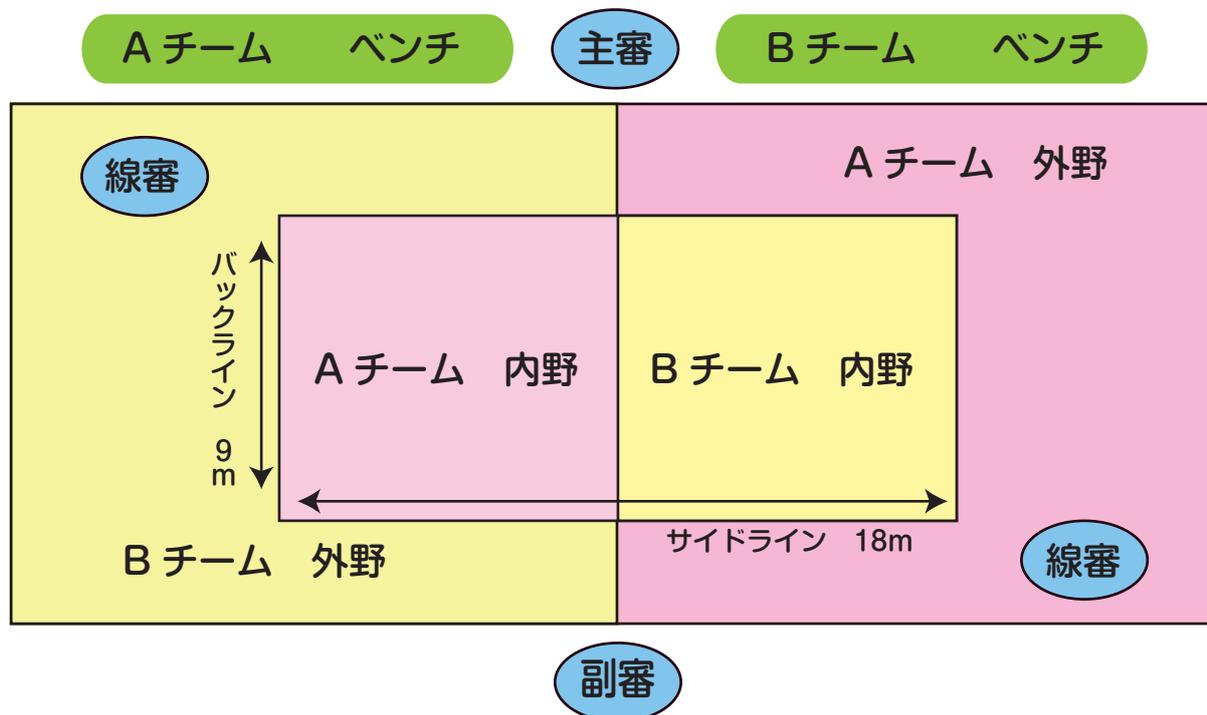


北斗市少年少女ドッジボール大会競技規則

1. コート コートの大きさ及び名称は図のとおりとする。



2. 試合方法

① チーム数により、トーナメントかリーグかが決定される。

【リーグの場合】

予選ブロックおよび決勝リーグにおける順位決定の優先順位は以下のとおりとする。

勝ち点（ストレート勝ち・・・3 ， 3セット目勝ち・・・2）

勝ち点が同じ場合は以下の方法で、順位を決定する。

- 1) 勝利試合における自軍内野選手ポイントの多い方
- 2) 勝利試合における相手内野選手ポイントの少ない方
- 3) 勝ち点およびポイントが同点の場合は、1セットマッチを行い順位を決定する。

② 1試合3セットマッチ。2セット先取したチームが勝ちとなる。各セットの勝敗は内野選手を全員アウトにしたチームが勝ちとなる。各セット制限時間を超えた場合は、内野に残った人数で勝敗を決定する。各セット終了時に人数が同数の場合は、サドンデスゲームを行う。（セット終了時のままジャンプボールにて試合を再開し、最初にアウトを取ったチームの勝ち）試合時間は1セット5分とする。

③ けが人や反則による失格者が続出して、プレーができる人数が4人以下になったときは、そのチームの負けとなる。途中で試合を放棄した場合も負けとなる。

3. 審判

主審・副審・線審（2名）の4名で行う。

4. チーム

1 チーム12名とし、選手登録は交代要員を含めて20名以内とする。常時4名以上の女子がコートにいなければならない。チームには監督を1名置くことができる。

5. コートの選択

タイムテーブル記載の上チームを器具室側コート、下チームを入口側コートとする。第3セットはじゃんけんでコートを決定する。

6. ゲーム開始

先発の12名がバックラインに整列後、主審・副審が人数を確認する。あいさつの後、選手はコート内外野の位置につく。開始時の外野選手は3名とする。

各セット、ジャンプボールにてプレー開始。ジャンプボールの後の第1投はジャンパーへの攻撃は禁止。当てた場合はファールとなり、ボールの支配権は相手の内野へ移動する。

7. 攻撃とアウト・セーフ

- ① 相手チーム選手の投げたボールに、内野選手がノーバウンドで当たった状態をアウトと呼ぶ。
- ② アウトになった選手は外野に出なければならない。当てた外野の選手は内野に戻ることができる。(代理選手は戻れない)
- ③ 1回のノーバウンドの投球で2名以上の選手に当たった場合は、最初の1名のみがアウトになる。
- ④ ボールを当てられても、そのボールが空中にある間に本人や味方チームの誰が取ってもセーフとなる。
- ⑤ 相手選手が投球したときに、ファールがあった場合は当たってもセーフとなる。

8. ファール

ファールを犯すとボールの支配権を相手の内野または外野に渡さなければならない。この時、相手からアウトをとっていても無効となる。退場及び失格もある。

① オーバーライン

ボールを投げるときラインを踏んではならない。相手の内野ボールとなる。

ボールを受け取るときラインを踏んではならない。相手の内野または外野ボールとなる。

② ホールディング

相手コートに転がっているボールを手を伸ばしてひっぱりこんで取ってはならない。

ただし、ボールがバウンドしていて手を伸ばして空中でキャッチすることは許される。

③ キープ・フォー・テン

ボールをキャッチして 10 秒以上持っている、ファールになる。

④ ファイブパス

外野同士のパスはよいが、5 回以内にアタックしなければならない（相手内野ボールとなる）。また、内野同士のパスはできない。

⑤ ヘッドアタック

相手選手の顔面または頭部を狙ってボールをぶつけてはならない。この場合、審判の判断でファールになり、相手の内野ボールとなる。

⑥ イリーガルスロー・イリーガルキャッチ

手、足、腕などで故意にはじいてアタックやパスをしてはいけない。

例) 相手のパスをバレーボールのトスのようにはねあげてキャッチ

例) ワンバウンドのパスをはじいて内野コート内に転がして味方選手が拾う

9. ボールデッド

コートに危険物があるとき、選手以外の人が入ってきたとき、選手がプレー中にけがをしたときは、ボールデッドとなる。

10. ボールの支配権

壁や観衆等にボールが当たって内外野にボールが戻ってきた場合、フリーボールとなる。

11. 選手交代

1 セットに 2 回まで交代ができ、1 度に 2 人までできる。選手交代は、ボールデッドまたは味方がボールを支配しているときに行う。

交代は男子は男子、女子は女子とするが、常時 4 名以上の女子がコートにいる場合は男女の交代は認められる。

12. 外野選手の復活権利と放棄

外野選手が相手チームの内野選手にボールを当ててアウトにすると、内野に戻る権利が生まれる。試合中、外野選手が 4 名以上のときは、内野へ戻る事ができる。（試合中の外野選手は最低 3 名いなければならない）

次の場合は、権利を放棄したとみなす。

① アウトを取ってから、外野でボールにさわったとき

② アウトを取ってから、すぐに内野へ戻らなかったとき

※内野へ戻る意思表示がないとき

13. ゲーム終了

- ・試合はタイムアップのブザー、または計測員のホイッスルで終了とする。
- ・ゲーム終了時、選手を座らせる

14. その他

- ・フライングスロー
ボールデッド後に試合を再開するときは、ボールの支配権を持つプレイヤーは主審のホイッスル前に投球してはならない。
- ・アウトプレー
インプレー中、プレイヤーは自エリア以外でプレーしてはいけない